

第15回東京湾シンポジウム

～東京湾の水環境に関する研究～

2014.10.24 13:00～17:00

横浜赤レンガ倉庫1号館3階ホール

東京湾の水環境に関して、水質、水理、化学、生物など様々な分野において精力的に研究が行われています。本シンポジウムでは、各分野で先端の研究をしている研究者に研究の紹介をして頂きます。幅広い分野の興味深い知見に触れることで、東京湾再生に向けて新たな着想・展開が生まれ、東京湾再生が一層推進することを目的としてシンポジウムを開催します。

開会 (13:00～13:15) ※12:30 開場

シンポジウムの狙い 岡田知也 (国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部海洋環境研究室)

第一部 (13:15～15:05) 大気・陸域との繋がり

台場周辺海域における雨天時越流水の流出特性と水質に及ぼす影響

古米弘明 (東京大学大学院工学系研究科附属水環境制御研究センター)

陸域から東京湾へのリンの輸送プロセス

鈴木昌弘 ((独)産業技術総合研究所環境管理技術研究部門海洋環境評価研究グループ)

内湾環境・生態系の予測・再生に向けて ～東京湾の水質とアサリ資源量の再現～

東 博紀 ((独)国立環境研究所地域環境研究センター海洋環境研究室)

東京湾の無酸素水塊と青潮

佐々木淳 (東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻)

東京湾の海草場におけるブルーカーボン研究

桑江朝比呂 ((独)港湾空港技術研究所沿岸環境研究領域沿岸環境研究チーム)

第二部 (15:20-17:00) 生物生息場

東京湾再生官民連携フォーラム「生き物生息場づくりPT」の活動について

佐々木淳 (東京大学大学院新領域創成科学研究科社会文化環境学専攻)

東京湾におけるマコガレイの産卵場

石井光廣 (千葉県水産総合研究センター資源研究室)

内湾の魚類の生息場間ネットワークに着目した生息場デザインの検討

秋山吉寛 (国土技術政策総合研究所沿岸海洋・防災研究部海洋環境研究室)

都市部の小さな干潟に「埋もれていた」絶滅危惧種の貝類・カニ類

柚原 剛 (静岡県立下田高等学校)

干潟域の魚類の多様性とその保全 —東京湾での事例—

加納光樹 (茨城大学広域水圏環境科学教育研究センター)

事前登録制 (参加無料) 定員 350名・先着順

シンポジウムへの参加は、事前の申込が必要です。

10月20日までに申込をお願いします。

事前登録については、裏面をご覧ください。

問い合わせ先：国土交通省 国土技術政策総合研究所
海洋環境研究室 岡田・井芹

TEL: 046-844-5023 / FAX: 046-844-1145

関連イベントを赤レンガ倉庫にて開催

『東京湾再生官民連携フォーラム (10月25日 10:00～)』

『東京湾大感謝祭 (10月25・26日 10:00～17:00)』



FAX 送付先：046-844-1145

締切日：平成26年10月20日（月）

第15回 東京湾シンポジウム 事前参加登録書

日時：平成26年10月24日（金）13:00~17:00

場所：横浜赤レンガ倉庫 1号館 3F ホール（横浜市中区新港1丁目1番）

標記シンポジウムへの参加について、以下の必要事項をご記入いただき、
FAXまたはE-mailにて申し込みください。

①ご登録氏名・報告書送付先

お名前	
ご住所	
ご所属	

②登録確認の連絡方法（どちらかにご記入ください）

<input type="checkbox"/> E-mail	
<input type="checkbox"/> FAX	

※参加申込書の個人情報、会議の当日の資料準備、報告書の送付および、関連会議のご連絡にのみの利用とし、事務局が適正に管理いたします。

※複数名のご参加の場合は、お手数ですが、本用紙をコピーし、人数分の送信をお願いいたします。また、参加者多数で定員（350名程度）を大きく上回った場合には、こちらからご連絡させていただきます。

事務局：国土技術政策総合研究所 海洋環境研究室

TEL 046-844-5023 / FAX 046-844-1145
E-mail:tokyo2014@www.meic.go.jp